

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 498 号	氏名	曾根本 恵美
学位審査委員		主 査	中島 憲一郎
		副 査	黒田 直敬
		副 査	西田 孝洋
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、関節リウマチの治療薬に関する臨床薬学的な研究を行ったものである。代表的な治療薬としてメトトレキサート (MTX) に注目し、その分析法を開発し、これと併用される製剤について有効性や安定性あるいは相互作用を明らかにしようとしたものであり、その目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 まず、LC-MS/MS 法を用いた高感度な MTX の分析法を開発し、患者血清の分析に適用した。ついで、MTX とシクロスポリン A あるいはアダリムマブとの併用による有効性や副作用の症例研究の解析、さらにトシリズマブ製剤の分析法の開発と安定性評価を行ったもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で検討した結果、MTX の血中濃度が高感度かつ高精度に定量でき、薬物動態学的な研究に応用できることを示唆した。また、症例研究では、後発のシクロスポリンの有効性を立証し、アダリムマブ併用により血小板減少を惹起することや、開発したトシリズマブの分析法が製剤の安定性の評価に十分適用できることを明らかとし、今後のリウマチ治療薬の相互作用や製剤の安定性評価への有用な情報を与えた。</p> <p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (薬学) の学位に値するものと判断した。</p>			